

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

誌上句会 「0番線」

真島久美子・Sin 選



2024

9



題「島」 真島久美子 選	4
Sin 選	6
無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	10
会員雑詠集「無人駅」	13
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 8月例句会	25
川柳吟行会「ぼ」	31
十和田たてがみ川柳会 7月句会報	35
■連載■	
最終回「深艘心理」 奈良一艘	8
Infomation	38～

# 0番線

-OKAJOKIZEROLINE-

## 選 真島久美子 「島」 題

### 【佳作】

- わたくしの島ですはんこ押しておく  
お仕事を辞めて無人島買っちゃった  
連れて来て島を紹介する息子  
死体になる時間 孤島になる時間  
大国になった夢から覚めぬ島  
大家族の中で離島になってゆく  
踏み石として狙われている離島  
島にまだ残されていた焼夷弾  
厨にて島ラッキョの告白タイム  
この島の中にはあつて外にない  
何もかも置いて名前のない島へ  
島を一つ出会い頭に産み落とす  
もう既に孤島になっている身体  
絶海の孤島を持っている詩人  
島になるつもりで河馬は浮いている  
タスマニアデビルの島国根性
- 青森県 まきこ  
青森県 須藤しんのすけ  
愛知県 中川喜代子  
青森県 守田啓子  
富山県 金瀬達雄  
青森県 葉 閑女  
青森県 滋野さち  
青森県 鳴海賢治  
北海道 きりん  
愛媛県 吉原美佐  
愛媛県 吉松澄子  
福井県 みつ木もも花  
青森県 まみどり  
大阪府 笠嶋恵美子  
愛知県 青砥和子  
大阪府 岸井ふさゑ

- 月見草やがて沈んでしまう島  
波の音だけを拾って島になる  
列島が漕ぎ出していく鶴の海  
島のほうむいて敬礼しています
- 愛媛県 吉松澄子  
愛媛県 郷田みや  
青森県 小野五郎  
青森県 鳴海賢治

### 【秀逸】

- プチプチをつぶす無人島をバラす  
鬼ヶ島の鬼は差し歯であったのか  
サーファーが島を零していきました
- 青森県 小野五郎  
京都府 岩根彰子  
徳島県 徳長 怜

### 【特選】

- イヤホンをホタルに替えて無人島
- 愛媛県 郷田みや

秀3・無になつて緩衝材を潰すのが好きだ。私は無意識の中で島をバラしていたのか。「つぶす」「バラす」によつて、響いてくる不協和音。秀2・そこを詠む!?!と吹

### 選 評

いた。鬼には鬼の物語があり、差し歯を治療するために本島へまた渡らなければならぬ。秀1・日焼けしたサーファーの肌と、夕焼けに染まる海。いい波をキャッチ

### 真島久美子

できなかつたのだろう。特選・ホタルの声を聞きながら過ごす時間。現代社会から離れて暮らすのも悪くない。

# 0番線

-OKAJOKIZEROLINE-

## 題「島」 Sin 選

### 【佳作】

- 島を一つ出会い頭に産み落とす  
福井県 みつ木もも花
- ちちははの島を離れてまだボート  
富山県 金瀬達雄
- もう既に孤島になつていいる身体  
青森県 まみどり
- 連れて来て島を紹介する息子  
愛知県 中川喜代子
- 笑うため島に寄り道女偏  
青森県 坂本清乃
- 離岸流に乗る 思い切つてよかつた  
北海道 四ツ屋いずみ
- 島唄のサビでむすんだ塩むすび  
大阪府 峯島 妙
- 猥雑な夜を抜け出て 沖の島  
鳥取県 齊尾くにこ
- 葬列の一番先がドン・ガバチョ  
青森県 奈良一艘
- イヤホンをホタルに替えて無人島  
愛媛県 郷田みや
- バスタブに浮かべて泣いた無人島  
青森県 滋野さち
- 寝転んでみました島になるように  
青森県 まみどり
- 松島や父に散らばる影の数  
青森県 戎 踊兵
- サーファーが島を零していきました  
徳島県 徳長 怜
- 無人島二人で尻尾振らなくちゃ  
青森県 まきこ
- 倍速で神の島までケンケンパ  
愛媛県 吉原美佐

太つても歯が無くたつて島が好き  
秋田県 田久保亜蘭

島ひとつ沈めた夜のハイボール  
静岡県 米山明日歌

プチプチをつぶす無人島をバラす  
青森県 小野五郎

躁の島鬱の島から招待状  
青森県 渡邊こあき

### 【秀逸】

明日という日も流れ着く島らしい  
秋田県 斎藤泰子

濡れようか利休鼠の雨だもの  
奈良県 ひとり静

ちようどいい崖があるから島暮らし  
秋田県 斎藤泰子

### 【特選】

死体になる時間 孤島になる時間  
青森県 守田啓子

「島」という題だつたせいか、作者と題との距離感のバラツキが大きかつたように思える。イメージだけで仕立てた句が意外と多く、頭ひとつ飛び抜けた作品もなかつたため、表

### 選評

現の勝負だつたかと思う。なかでも特選は「死体になる時間」と時間軸を作品の中に埋め込めたことで、読む側にストーリーを思い浮かばせる猶予があつた。誰かを看取つ

### Sin

ている時間なのか、はたまた、自分自身が社会的な死体になつていく時間を詠つたのか。いづれにせよ、大きなものから離れていく切なさ、羨ましき、清々しさも感じ取れる。

【0番線「島」：投句者47名】きりん・佐藤春子・中川喜代子・吉松澄子・奈良一艘・城後朱美・まきこ・みつ木もも花・山明日歌・須藤しんのすけ・安藤なみ・上原 稔・ひとり静・宮井いずみ・岸井ふさゑ・岩根影子・金瀬達雄・ツ屋いずみ・笹田隆志・吉原美佐・土田雅子・坂本清乃・田久保亜蘭・熊谷冬鼓・滋野さち・郷田みや・鳴海賢治・

笠嶋恵美子・渡邊こあき・小野五郎・田中 薫・まみどり・守田啓子・齊尾くにこ・嵯峨山登・戎 踊兵・米峯島 妙・村上あつこ・笹田かなえ・中島順子・柳本恵子・芝岡かんえもん・旅男・葉 閑女・青砥和子・四徳長 怜・斎藤泰子

# 深艘心理

最終回

ステージは4 明日会いにゆく

— 帆

(川柳ステーション2016から 題詠「四」奈良一艘選特選)

約8年前の大会句だが、未だに頭から離れない句だ。ステージ4(Ⅳ)はみなさんご存知の通り、癌の進行度合いの事。

ステージには1〜Ⅳまであり、ステージⅣともなれば、ほぼ絶望的な段階という事なのだ。

掲句には「誰が?」「何故?」という事は全く書かれてはおらず、入院しているのかも、自宅で療養されているのかさえも書かれてはいない。ただ「明日会いにゆく」と切羽詰まった様子だけの描写。

おそらく作者の大事な肉親か、お世話になった方、或いは親しい友人なのだろう。書いていない分、読者の想像は膨らむ。いつだったか当柳社のSinさんが言っていた言

出来る段階はとつくに超えていて、残されている治療法は、効くか効かないか分からない副作用の強い抗癌剤治療しかない、かといって何もしなければ恐らく年は越せないだろうとのこと。普通に動けるのは後2〜3ヶ月。つまり余命は半年と言われてしまった。「えっ、それってまるで映画かドラマの話じゃん」と思わず吹き出してしまった。現実の自分の事なのに…(笑)

それを言われたのが6月の始め頃。死んだカミさんとはお互い延命治療はしないと決めていたので、先生には即、「自分が自分らしく生きるための尊厳死」を選ぶと即答していた。

77歳という波瀾万丈の楽しい人生で、やり残した事は一つ無い。後少しすれば、大好きだった母や妻に会えると思うと逆に少しワクワクさせしている。

幸い7月の「川柳ステーション2024」と、第一回「川柳らくだキャラバン句会in青森」も大成功に終わり。逢い

葉を思い出す。「川柳は引き算の文芸です」と。言葉を出るだけ削ぎ落とす事によって生まれる空間が、読み手に何倍にもなって響いてくる。正にその言葉を彷彿とさせる心に残る作品である。

ところで、私事で突然申し訳ないのだが、この「深艘心理」は今回を持って終了することになるだろう。実は5月の連休に高熱でダウンしていた。ようやく起きられるようになり主治医へ行った所、大きな病院での検査を勧められた。最終診断の結果は「早期進行性による胃癌、肝臓転移、リンパ節転移、腹膜播種」というものであり、ステージで例えれば、5か6の末期中の末期なのだそう。手術など

たい人達にもたくさん逢えた。前の日にやつつけ仕事で作った大会句も殆どが抜かれるという奇跡も味わった。川柳と出会えていなければ…おかしょうきのむさしに拾って貰っていなければ…きつと味気ない人生だったろう。

もう思い残す事は何もない。身が朽ちるまではホウホウと生き、旨いもんを食って、温泉に浸かり、アハハハとやりたい事をやる。ま、いつか、なのだ。うむ。

この稿が出る頃には多分終末ケアの病棟で若い看護師さんと合法のモルヒネを打ちながらご機嫌でキャピキャピしている筈なので、無粋な面会などはご無用に願いたい。お手紙だけは受け付けます。お返事は書けないけどね(笑) 皆さんには本当にお世話になりありがとうございます。感謝感謝の生涯でした。

「じゃねエ、あ〜ばよー」バイバイキーン!!

## カンテラ

むねこ

会員の皆様に必要なお知らせがあります。

これまで、会員へ印刷物としてお届けしていた「月刊おかしょうき」を来年2月号からデジタル化し、ウェブサイトで誰でも閲覧出来る形へ移行させていただきます。

それに伴って、来年からの皆様からの会費も減額する予定です。

諸般の事情により皆様に大変な負担をおかけすることになります。これまで同様よろしくお願いたします。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

## A群

外は雨ゆつくり騙しだまされる

瀧尻善英

やるせない一日だった冷ややっこ

熊谷冬鼓

のところは住宅が密集しているようですから、「風鈴」の音が聞こえてくるのでしょうか。風が吹くといつも同じ音が聞こえてくるって、いくらいい音だとしてもいらいらして来ますよね。あれ？この「風鈴」って比喻ですか？

## B群

あっかんべーは本気ですのよ覚悟して まきこ

ガリガリ君とける一旦コマージュ 柳本恵子

デジタルの渦で掴んだ蜘蛛の糸

安藤なみ

これでもかって花弁をつけたがらんどろ

きさぎ彼句吾

風は西から岬には徒歩で

吉田州花

棘ぬいたあとに夕日を入れてみる

米山明日歌

ズキズキと生きているから痛いんだ

村上あつこ

悔しくてあなたの家に放つ 鱈

芝岡かんえもん

芝岡かんえもんさん、これ、やってはいけないことです。「鱈」でしょ？広辞苑に『わに【鱈】①ワニ目の爬虫（はちゅう）類の総称。（中略）爬虫類中最も高等な体制で、形はトカゲに似て長大、8メートルに

Aーの綾瀬はるかが逢いにくる

須藤しのすけ

私より凜としているつつかえ棒

坂本清乃

寝返りをうったところは海だった

鳴海賢治

ゼンマイで動かしていた頃のこと

ひとり静

やっこくてほろ酸っぱくてねえ津軽

峯島 妙

こなごなに割れただずたに裂けた

守田啓子

高齢者みんながなれば怖くなる

葉 閑女

雨マーク消えて手帳のがらんどろ

吉見恵子

新紙幣持つて乗ってるらくだの背

渡邊こあき

線香花火もたされたまま齡をとる

斎藤泰子

中也より悲しくはない日は昇る

金瀬達雄

お隣の風鈴替えてみたくなる

辻井洋子

辻井洋子さん、私が住んでいる村では隣の「風鈴」の音が聞こえてきません。でも、洋子さんがお住まい

達するものもあるが2メートルもないものもある。体は角質の鱗でおおわれ、尾は側扁し、水中進行に用いるとともに武器となる。（後略）と出てくるやつ。この「あなた」って、かんえもんさんに何をしたのですか？「あなた」がどんなことをしたか知りませんが、「鱈」を放つのは犯罪です。「鱈」に「鮫の古名」という意味もありますが、「鮫」も他人の家に放つてはいけません。あれ？「あなた」って私じゃないですよね…（汗）

## C群

クリーム館蜜のクリームがイタイ

岩根彰子

浴衣着て角打ちにいる消火栓

小野五郎

それはブリキの月でした雪積もる

田久保亜蘭

桜吹雪的「色即是空」は見ましたか

奈良一艘

岩根彰子さん、広辞苑に「クリーム館蜜」が出てきません。ネット検索したら、あるところに『みつ豆』にアイスクリームをのせたのがクリームみつ豆。「みつ豆」にあんこをのせたのがあんみつ。「みつ豆」に

あんこと白玉をのせたのが白玉あんみつ。「みつ豆」にあんことアイスクリームをのせたのがクリームあんみつ。』とありました。なかなかややこしい状況にある食べ物なんです。そんな「クリーム館蜜」の「クリーム」が「イタイ」のですか。「イタイ」は「痛い」の変化したものでしょうか。彰子さん、身体が「痛い」と感じることは、「これは危険です」という信号です。食べ過ぎない方がいいですよ。あれ、余計なお世話でしたか。

小野五郎さん、すごい「消火栓」を知ってますね。「角打ち」って、『かく・うち【角打ち】②酒を枡(ます)で飲むこと。また、酒屋で買った酒をその店内で飲むこと。』(広辞苑第七版)でしょ? 「消火栓」が「浴衣」を着て、酒屋の店内でぐいーっと一杯やっつてる光景って絵になるなあ。この「消火栓」は五郎さんだと睨んでいますか(笑)

田久保亜蘭さん、「ブリキの月」なんてよく知っていますね。私は知らなかった。ネット検索したら、2009年に発表されたセカイイチというひとの楽曲(作詞作曲:岩崎慧)で、「夕方に光る ブリキの月が

嘘をついて 空を騙してる 僕にウインクしながら」という歌詞が出てきます。空を騙すと雪が降るんですね。秋田県では、冬になると亜蘭さんが嘘の川柳を吐きまくるのであんなに雪が降るんですね。

奈良一艘さん、「色即是空」って「般若心経」ですよ。広辞苑を引くと『しき・そく・ぜ・くう【色即是空】(仏)「般若心経」現象界の物質的存在(色)には固定的本質がない(空)ということ。』と出てきます。「空即是色」というのもあります。それは、『くう・そく・ぜ・しき【空即是色】「般若心経」空であることがそのまま現象界のあり方であるということ。』(広辞苑第七版)です。で、一艘さんはただの「色即是空」ではなく『桜吹雪的「色即是空」』と、なにやら妖しく変化させています。そこが一艘流なんですよ。般若心経が「色は空」だと教えているのに、「桜吹雪」で染め上げる一艘さん。この句の意図するところは、奈良一艘を見たか!』ってこと。イロオトコ一艘ココニアリケリなんだね。

おかじょうぎ川柳社会員雑誌集

# 無人駅

★無人駅8月月間賞

これ以上ぼかしきれない消えちまう

まみどり

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

デジタルの渦で掴んだ蜘蛛の糸  
そうめんが柳の枝で揺れている  
エイアイが密かにつくる飾り窓  
雨乞いの儀式に参加するアヒル  
爺さまの病気見舞いにかぐや姫

戎踊兵

先月号のお気に入り

朝食は愛を歌ってからにする  
素晴らしい。(勘弁して)

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

スクールが愛を乱切りひめりんご  
裸になれと言う大理石の角  
何に怒っているの喫茶店の暖炉  
クリーム館蜜のクリームがイタイ  
助手席の窓に礎されました

須藤しんのすけ

先月号のお気に入り

染色体が並ぶコーラの瓶の底  
素材の見つけ、対比、衝撃度にガッツポーズが出てしま  
いました。

戎 踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

文明を少し外れて焚き火する  
名を知って一輪挿しのヒメジオオン  
煮て食えば矢じりの先のトリカブト  
振花の花の一つの小さい虫  
一字一行縦書きで咲く赤い蘭

斎藤泰子  
踊兵

先月号のお気に入り

タンポポよ余所のお庭で咲きなさい  
タンポポを躰けてしまっ指の先

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

難しいことは詠めないロック酒  
心まで覗かれている沙羅双樹  
思いの丈を花卉で描く絵ハガキに  
文法を遣い未来へ飛んで行く  
素敵な女とLINE繋がる夏の夕

きさらぎ彼句吾

先月号のお気に入り

こんな文法力じゃ春は呼べない  
文法をお復習すれば春は来る

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

夕立が父の墓石洗ってる  
浴衣着て角打ちにいる消火栓  
手洗いの順番待ってるカタツムリ  
モアイ達の交換日記読んでいる  
staffのTシャツ着てる積乱雲

柳本恵子

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

コルトレーン跨いで薫る梅雨の海  
穴水の牡蠣殻あたる大アタマ  
自虐から嗜虐へ噴水スカイツリー  
中也より悲しくはない日は昇る  
下鴨の拝殿 多神に立ち眩み

四ツ屋いずみ

先月号のお気に入り

背泳ぎで来し方とやらを反芻  
未来を切り開きたい時は背泳ぎですね。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

食い気味にハシビロコウが呼名した  
白夜を掻きむしる爪のタラレバ  
今朝の老いと折り合いつけるルージュひく  
きみを潤すビールにさえも敵わない  
これでもかつて花卉をつけたがらんだう

柳本恵子

先月号のお気に入り

ごく自然に手を放しておりました  
達人の言葉ですね

熊谷冬鼓【くまがいとこ・青森県青森市】

なんだかなあなんだかあつて微炭酸  
ぬるい水おもてなしには程遠く  
やるせない一日だった冷ややっこ  
取り敢えず胡瓜冷やしておきますね  
間違いか勘違いかはパンの耳

Sin

先月号のお気に入り

。「に」話があるの」と告げられる  
いわゆる「ハラ」ってヤツ?句にするとこうなるんで  
すね。

古川平子【こがわひらこ・青森県蓬田村】

元氣ですサボテンの棘はピンピン  
猫時間自由なんだか愛なのか  
宇宙語はもう御卒業祝二才  
スターカッターりんごの中の眠り姫よ  
4Bで正座して書く初めてのあ

先月号の  
お気に入り

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

線香花火もたされたまま齡をとる  
前例になつてしまえばいいじゃない  
道化なら上手いよ長く生きたもの  
出る杭の痛さ 知らないよりはマシ  
すみませんウインクに気がつかなくて

先月号の  
お気に入り

喜寿というほどよく枯れた坂がある 滋野さち  
そんな坂になりたい。

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

深読みをされてしまった茄子の花  
建前も本音も詰めて宅急便  
菩提樹の花は見頃の寺参り  
鳥にもお裾分けするブルーベリー  
私より凜としているつつかえ棒

先月号の  
お気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

十字架のように飛行機夏の空  
わたがしの世界一からナイアガラ  
愛という鳥の餌食になりました  
眠れない然りわたしは生きている  
記念碑のように角瓶屹立す

先月号の  
お気に入り

ブラックじゃないか報酬桃太郎 瀧尻善英  
桃太郎は略奪者です。そつではありませんか？

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

マンガースがマムシの牙を狙つてる  
右の乳房に棲みついているキノコ雲  
後期高齢の耳取り替える時間です  
牛の鼻だるく梅雨前線停滞中  
星条旗の首を持つてる民主党

先月号の  
お気に入り

右旋回優先おしゃる青蜥蜴 岩根彰子  
おしゃるがおしゃれですが、津軽弁だと何だろう

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

指を鳴らせばあつという間に釈迦になる  
愛なんてずれてずれてのアミダクジ  
「ごめんね」が溢れたまつた 水たまり  
耳を澄ませば奥のほうからボコボコボコ  
悔しくてあなたの家に放つ 鰐

先月号の  
お気に入り

時の欠片を嚙つては飲む缶ビール むさし  
時の欠片は堅そつだけど噛めば噛むほど味がぞう。こ  
れが缶ビールにあつんだ。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

きれいごと並べる口が曲がりだす  
物欲があるから長生きしてしまふ  
マンネリのヨガも必要梅雨明け  
ほんのりのアロマにヨガも深くなる  
もがいてる私が見える十年後

先月号の  
お気に入り

休みたい休みたい休みたいんだ 吉田吹喜  
同感、ウォーキング発表会があり、疲れはて、3日間寝  
てました。

Sin【しん・青森県外ヶ浜町】

子供の作り話を不法所持してる  
ダ・ル・マ・さ・ん・が そんな目で見んな  
ヘクトパスカルを呪文みたいにつぶやけば？  
溢れ溢れて 痛い痛い飛んでく  
季節外れの志村けんじゃあるまいし

先月号の  
お気に入り

信号の赤は私に似合わない 須藤しんのすけ  
バトカーの赤？

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

老人の酔ったLINEも面白い  
上方のらくだと食通を気取る  
ラジオからサザン真夏の季語見つけ！  
AIの綾瀬はるかが逢いにくる  
食べたのはゴムゴムの実とマスクメロンと

洗濯機明日はきつと晴れがくる ひらく  
下五の「くる」が良い。一発で役満の和了牌を引いてく  
るような、明るい嘘っぽさが堪らない。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

外は雨ゆつくり騙しだまされる  
過去は過去 あしたがあるさヶセラセラ  
本籍は山中世界の奥の院  
全部受け入れてひたすら前を向く  
本日も快調あくびするスマホ

ではなくて自動改札機を出る「ん」 守田啓子  
自動改札機を出ようとした瞬間、マークの付いた読み取り部に、しっか  
りタッチしないとエラーとなり「ん？」となってしまっ。共感する「んだ。

旅男【たびお・青森県五所川原市】

よく食べよく寝る人よ口よ欲よ  
刈り上げのダブルスマホで詐欺師ちやう  
外遊はにほんの心旅深く  
帰国すりや人がアニメが蒸つし暑  
帰国してお土産をかう紀ノ国屋

パン屋匂う告げたきことのやわらかし 柳本恵子  
なんや分からんけどええなあ。パン食てから教えたろ。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

お隣の風鈴替えてみたくなる  
電柱の無くしたものはこらえ性  
背骨から芯が抜けてくような夜  
恐恐とスギナの伸びる音を聞く  
バックにはとりどり笑顔詰めてある

屋根の錆この先10年あるとして 熊谷冬鼓  
悩ましいですね、家を維持するって…。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

閉経後の島はきれいに生いそろう  
キングコングも俺の敵じゃない白と住む  
たくあんはたくあんの色が好きじゃない  
それはブリキの月でした雪積もる  
雑草のあいつは特に注意せよ

先月号のお気に入り

田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

底しれぬポケットなぜか怖くない  
能演じ君を虜にしちやつたね  
ど根性がエルしみじみ月を読む  
墓石からはずれた声が母である  
まだ行ける坐骨神経根曲がり竹

ぶかぶかのブルマーぶかぶか乳バンド 岩根彰子  
正直でいいと思います

夏草ふぶぎ【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

清潔な埃ですからお静かに  
悠々と羽根を広げる焦げた本  
埋めていた魂だものよく喋る  
乳児院で貸し出しを待つ子供たち  
くつろげる部屋です電源はオフで

サモトラケのニケは水の匂いする ひとり静  
風の匂いだと思ってました、水だったのが。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

ペッペツ北京原人のような頭して  
アブラカタブラーとあっけなく泡の中  
鉤括弧つけた前頭葉ならたしか…  
エモンガケに解体新書がぶら下がる  
桜吹雪的「色即是空」は見ましたか

アキストゼネコ何度もやってもトで終わる 峯島妙  
「ト」で終わるくらいでメンメンしない。「ゼ」で終わる  
よりまだ希望があるじゃない(笑)

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

寝返りをうったところは海だった  
弱虫にならないためにガムをかむ  
トリセツの18頁すりつぶす  
片足で立つ丸ですかゼロですか  
おおなみなみわたし失敗しないで

先月号のお気に入り  
すみっこを取り合う今日は参観日  
理由がわからないまま、おもしろい。  
峯島妙

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

深々と傷ある木から始まった  
笑わない子供が増えてゆく世界  
そういえばハシビロコウも焦げてたわ  
ゼンマイで動かしていた頃のこと  
荒削りな棒はいつもさびしがり

先月号のお気に入り  
お勝手の右端にある深い海  
まきこ  
うちは正面にあります。否心なく見えています。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

秒針の音呑み込んでから喜劇  
陽が沈むまで聴いているファンファーレ  
じつと手を見る昭和平成令和  
逆風が順風になる回れ右  
笑えない箸が転がっているのに

先月号のお気に入り  
脱ぎ捨てたはずの時間に戻される  
戎踊兵  
お帰りなさい。

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

ただそこに含羞んでいる岩木山  
修司くんとベースの外のかくれんぼ  
睨みから終わった恋が哭くねぶた  
味噌カレー牛乳ラーメンが沁みる(バター入り)  
やっこくてほろ酸っぱくてねえ津軽

先月号のお気に入り  
朝食は愛を歌ってからにする  
戎踊兵  
ステーションでお会いしたのでこの愛らしさにビックリ  
です。

まきこ【まきこ・青森県青森市】

あつかんべーは本気ですよ覚悟して  
フルコース嫌いなあなた好きでした  
ラジオ体操しながら思う尊厳死  
無い尻尾振ってみましよういちにさん  
お説教は明日の夕刻所望する

先月号のお気に入り  
さくらんぼ可愛いだけで許される  
辻井洋子  
百年前はわたしもさくらんぼだったのよ？今わねえー！。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

言ったとか言わないだとか風見鶏  
汗だくになつて脱け殻の寸前  
誘ったり誘われたりのシャボン玉  
何をどうさばきましようか店じまい  
お宝かガラクタなのか自白せよ

先月号のお気に入り  
その先を言つた 志が揺れる  
齋藤泰子  
そう強くありたいものです。

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

焼きパイン三つ斜めに突つ切れば  
できたてをどうぞ青キップどうぞ  
白檀の扇子時々ユーチューバー  
チョコもなか面倒くさいの液状化  
鯛の哀愁までを夏とする

先月号のお気に入り  
この先は出がらしっぽいく所存  
四ツ屋いずみ  
あるがままを認めて自然体でいるって憧れ。

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

思い出の中で生きてる認知症  
冥途までゆつくり行こうケンケンパ  
時計の針を巻き戻したい半世紀  
ズキズキと生きているから痛いんだ  
お財布が音を上げているヒーヒーと

先月号のお気に入り  
この先は出がらしっぽいく所存  
四ツ屋いずみ  
出がらし良いですね。気が楽で・・・

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

振りむけば卒寿の虹が来た道に  
春日浴び今日も明るくウォーキング  
帰省の子待つたのしみ帰る淋しき  
冬銀河風は無音を音とする  
平泳ぎにがて犬かきで世間ゆく

先月号のお気に入り  
明日を待つ為に心は折れさせぬ  
明日があるから希望をもって生きられるのです。  
村井規子

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

拾ったのはキレた水平線だった  
紫陽花を無造作に挿す泣けない日  
こなごなに割れただすたに裂けた  
見てくれる人いなくても咲いています  
更新はしたか 点々と雨雲

先月号のお気に入り  
カワセミに為替の行方訊いてみる  
為替に名前の似てるあの鳥なら教えてくれるかも。  
金瀬達雄

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

ほたて減産卑弥呼が泣いた海  
風は西から岬には徒歩で  
秘密会議リバーサイドの広間から  
泣きに行く千歩で着いた観瀾山  
浮き玉はガラス薬局は更地に

先月号のお気に入り  
面倒になったら私ごと送る  
よく思いつきました エライ!!  
まみどり

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

四年目のぶどうまばらに声発す  
雨マーク消えて手帳のがらんどろ  
窓開ける自分ばかりじゃつまらない  
プクプクと金魚の鱗は中天に  
許すのは誰のためかと椿落つ

先月号のお気に入り

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

究極の悲劇人間が楽しくて  
ガリガリ君とける一旦コマージュル  
指先の蜘蛛 殺そうか逃がそうか  
俄雨ツバメの宿をかりました  
いつの間にか雨 いつの間にか夏終わる

先月号のお気に入り  
野茨よいずれ陣地は明け渡す  
畑や庭の草にいつも白旗あげています。  
熊谷冬鼓

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

高齢者みんながなれば怖くなる  
気に入った字だけ掬っている花眼  
まあだだよばかり聞こえてくる浜辺  
命日は昨日でしたか月おぼろ  
真夜中になっても赤いままの月

先月号のお気に入り  
脱ぎ捨てたはずの時間に戻される  
脱ぎ捨てるだけじゃダメなんでしょうね。きちんと燃えるゴミに出さないと…。  
戎踊兵

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

背表紙の優しい順に声かける  
さんざめく各地訛に白南風強し  
預言するセキセイインコ飼いましょう  
ここだけの話の銃口を躲す  
ダブルスタンダード言う口ぞ気いつけや

先月号のお気に入り  
たらればをひとまず三樽処分する  
たられば、溜まりやすいですね。残りはおいくつ？  
きざらぎ彼句吾

米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

もたれば私と同じ水の音  
わたくしの影をはみ出す骨がある  
曲がり角ばかりの話まだ続く  
棘ぬいたあとに夕日を入れてみる  
そして今何もなかったような紙

先月号のお気に入り  
陽が落ちる私の影がたちあがる  
まさに同じ心境です。  
村上てる

渡邊こあき「わたなべこあき・青森県青森市」

お中元ゼリーあんみつカブトムシ  
菜の花の迷路蝶になったら抜けだせる  
跳び箱の上で思案のかたつむり  
新紙幣持つて乗ってるらくだの背  
赤トンボ待ちわびている不在票

の月号の  
先月号の  
お気に入り

たらればをひとまず三樽処分する きささぎ彼句吾  
彼句吾さんが三樽なり、私はその倍ですね。

むさし「むさし・青森県蓬田村」

オーロラが見たいかラーメン食べたいか  
ポケットの中で蠢く句読点  
プリンバンバンボンとつるんでいるトカゲ  
「らくだのうろこ」と書かれてあった処方箋  
老眼鏡と影と私と終電車

# 根拠のない 大丈夫

8月3日(土) 午後1時～ アウガ5階 小会議室

▼出席者(13名)

奈良一艘・熊谷冬鼓・きさらぎ彼句吾・田中薫・Sin・原口健二・  
藤田智恵子・高木まあこ・笹田隆志・むさし・守田啓子・夏草  
ふぶき・須藤しんのすけ

▼投句者(23名)

嵯峨山登・旅男・奥田悦生・芝岡かんえもん・米山明日歌・岩  
根彰子・柳本恵子・戎踊兵・鳴海賢治・宮井いずみ・峯島妙・  
村上あつこ・郷田みや・斎藤泰子・葉閑女・一帆・安藤なみ・  
吉松澄子・城後朱美・坂本清乃・まみどり・まきこ・村井規子

無人駅は自由な発表の場です。  
未発表作品5句をお寄せください。  
また、お手元の最新号から、お好きな作品とそれ  
に対する簡単なコメントもお寄せください。

スマホやタブレットで投句する↓



おかじょうき川柳社  
8月例会

席題『快』

青森県弘前市 奈良一艘選

【佳作】

快感に溺れかかった昼の月 原口健二

濡れたまま天使はそつと目を閉じる 須藤しんのすけ

明けないで欲しいと思う夜を抱く 須藤しんのすけ

延長コードの絡みほどこけて梅雨明ける 夏草ふぶき

プーチンがなんだ入道雲を蹴り倒す むさし

リラックスしてますサドルを低くして 熊谷冬鼓

十六夜の腕に抱かれて眠ります 高木まあこ

悦びを括弧でくくるはずがない S i n

いだし合う主語も述語も棄てきつて きさらぎ彼句吾

常温の桃です溶け込みやすいです 夏草ふぶき

【秀逸】 キスマみれ溜息まみれ汗まみれ 守田啓子

糸電話に届く致死量の青い空 むさし

居心地がいいのよ落ち葉は溜まるけど 熊谷冬鼓

【特選】 嫁いだ日が快晴逝った日も快晴 笹田隆志

♪ 快晴の日こそ逝くのにふさわしい。

快音を残して赤信号渡る S i n

嫁いだ日が快晴逝った日も快晴 笹田隆志

明けないで欲しいと思う夜を抱く 須藤しんのすけ

【秀逸】 いだし合う主語も述語も棄てきつて きさらぎ彼句吾

雪女を抱きしめにゆく夏の午後 むさし

賢者タイムが続く八月の先っぽ 奈良一艘

【特選】 ひとりです濡れて嬉しい雨がある 高木まあこ

♪ 自分だけにしか分からない刻

席題『快』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

延長コードの絡みほどこけて梅雨明ける 夏草ふぶき

プーチンがなんだ入道雲を蹴り倒す むさし

十六夜の腕に抱かれて眠ります 高木まあこ

快感と目が合つてちよつと気まずい S i n

うそでしよう稲妻落としてできました 守田啓子

落書のように生き抜くカ・イ・カ・ン 奈良一艘

陶然と浴びるぎんぎよの流し目 きさらぎ彼句吾

### 宿題『カード』

青森県弘前市 須藤しんのすけ 選

#### 【佳作】

運命のカードがゆつくりと回る  
 ひび割れたままのカードで生きてくわ  
 ポイントをたつぷり貯めて来たサンタ  
 マイナंबर 私の舌に貼り付ける  
 ポケットにカード大人のピクニック  
 わたくしを切り札にしてどうするの  
 スペードのエースはきつとあなたでしょ  
 平凡なカード 諦めてはいない  
 ETCカードから北斎の波の音  
 折り返し地点にはポケモンカード  
 夏休みになると猪鹿蝶が揃うのよ  
 PayPayもスイカも豚に真珠です  
 イエローカードばかりで先が見えません  
 カード決済あとはよろしく頼みます

吉松澄子  
 守田啓子  
 戎 踊兵  
 夏草ふぶき  
 峯島 妙  
 まみどり  
 郷田みや  
 斎藤泰子  
 奈良一艘  
 郷田みや  
 S i n  
 まみどり  
 むさし  
 まきこ

未使用のドナーカードと天寿全う  
 手品師のカードはいつも正直で  
 寝返りをするとシャワーの出るカード  
 燃料プールを泳ぐ累進課税カード  
 ペアになるカード探せぬ昼下がりに  
 花札の月と数え合う孤独

#### 【五客】

輪廻転生のカードに判子が増えていく  
 タイテイノコトハ花札デキメル  
 ふる里がカードサイズになつてゆく  
 ひまわりの種だナドナーカードだナ  
 ボリボリ金平糖ジョーカー参上

#### 【人位】

ヒールの似合わない診察券がふえた

#### 【地位】

砂時計くるりジョーカーをくるり

#### 【天位】

カード捨てる魚になるの泡になるの

『やっぱり自然がいいですね。』

一 帆  
 坂本清乃  
 吉松澄子  
 笹田隆志  
 米山明日歌  
 きさらぎ彼句吾  
 夏草ふぶき  
 柳本恵子  
 米山明日歌  
 きさらぎ彼句吾  
 田中 薫  
 熊谷冬鼓  
 熊谷冬鼓  
 守田啓子

### 宿題『知』

青森県蓬田村 むさし 選

#### 【佳作】

知り合いに腕の良い医者いませんか  
 これもあれもそれもどれも知恵熱です  
 返事してるのにテレビの知らんぷり  
 知人の紹介で星を見えています  
 ライバルの癖ならみんな知っている  
 検診の結果通知はオール三  
 裏の顔知らない人とゴールする  
 知恵熱じゃないよ老人ですから  
 浮雲流れ知らない街に来てしまう  
 恋心知られるまでのミントティー  
 履歴書に書かれていない火傷跡  
 知りすぎるついでいいことですね街は雨  
 知の巨人無知の大食いヒト科です  
 ちゃんとずるいほうがちゃんと生きられる

村上あつこ  
 田中 薫  
 城後朱美  
 鳴海賢治  
 原口健二  
 安藤なみ  
 一 帆  
 吉松澄子  
 柳本恵子  
 峯島 妙  
 芝岡かんえもん  
 まきこ  
 藤田智恵子  
 夏草ふぶき

# 宿題『自由詠』

青森県青森市 夏草ふぶき選

## 【佳作】

悪口に飽きて耳たぶワントタンに  
まつすぐに届いた夏の咀嚼音  
蓋しても蓋してもまた百日紅  
つつくから月が自転を始めそう  
ミサイルの朝食スクランブルエッグ  
手を振ったわたしを月は見ていたか  
二人してワルになりたい自動ドア  
結果を跨いでプリンバンバンボン  
箱舟には乗れないその他大勢  
出会ったのはプラスチックな星の夜  
体臭はレモン首のない男  
現実が蛍が逃げたあとの闇  
深爪の痛さの続くあぶり出し  
切りすぎた前髪告白は明日

村井規子  
宮井いずみ  
郷田みや  
安藤なみ  
安藤なみ  
むさし  
帆  
奈良一艘  
村上あつこ  
きさらぎ彼句吾  
奈良一艘  
米山明日歌  
米山明日歌  
須藤しんのすけ

脳内に墮天使がいる塩をふる  
麻混のノースリーブのはかりごと  
伎芸天ふふと笑った気がしたの  
宇治金時の宇治で止まったままの恋  
言い終えて気分すっきりカフェ・オーレ  
私のあなたあなたの私不等式

田中 薫  
峯島 妙  
柳本恵子  
峯島 妙  
帆  
きさらぎ彼句吾

## 【五客】

真実を見ざる聞かざる羊たち  
土偶に訊く遮光器なんてうそでしょう  
サイダーの泡の向こうにベンチャーズ  
本音かもしれぬばあちゃんは大嫌い  
ふさわしくない接続詞だったか死

嵯峨山登  
笹田隆志  
峯島 妙  
城後朱美  
守田啓子

## 【人位】

海底に死亡動機は棄てて来た

嵯峨山登

## 【地位】

瓶詰めのコトバ振ってはいけません

郷田みや

## 【天位】

根拠のない大丈夫なら玄関に

熊谷冬鼓

◆玄関を出てしまつと急に不安になる事っておりますね。

## 参加者募集

# 川柳吟行会「ぼ」課題『朱』

「おかしょうき」に初めて投句をしたのはコロナで奈良の句会に行けない時でした。

「なつかしい」と「斬新」な、おかしょうきの雰囲気が大好きで4年と半年がたちました。

北野岸柳さんの「川柳の句会、大会で出される題は実は副題なんだよ。本当の題はいつでも『生きる』なんだ。生きるを詠むのが川柳。」

この言葉を胸に刻み、こんな私でも、どっこい生きているという川柳をこれからも作っていききたいです。

(柳本恵子)

【8点】特×2・佳×4

朱のカンナ父の剣は錆びている 岩根彰子

【吉見恵子】「父の剣」が良かった。今を盛りと咲くカン

【7点】特×2・佳×3

凌霄花あたしを放さないつもり 守田啓子

【踊兵】浮島のように自立している凌霄花、濃い色のたくさん花に見つめられ動けない。これは自分の意志なのか、花の意志なのか。【隆志】ノウゼンカズラの和名を初めて知りました。夏の野にこの花の朱色がよく映え

ナと錆びる父の剣の対比で、弱った父に対する寂しさが伝わってきた。【冬鼓】庭のカンナは今年も猛々しい。カンナの葉は剣の形。血気盛んだったころの父を思う。カンナとの対比が切ない。【踊兵】闘う武器は古びても、家族を守る情熱は消えやしないさ。【かなえ】カンナの花、確かに剣っぽい。父の剣、まあ、しょうがないっす。【文音】成長していく娘に鋭い説教もできなくなった父の老いを切なく読みました。【さち】朱のカンナで一息入れたら父の剣への思いが深くなる気がしました。例えばカンナの朱父の剣は錆びているとか。思いは伝わるのですが。

ます。【善江】オレンジ色の派手な花で蔓でどんどん伸びていきます。いろいろからみつきます（笑）庭に植えてはいけない花とは知らず先日植えてしまいました。【州花】しがみつくのは上手なのうぜん花。台風にはめつぽう弱いのに。【冬鼓】地面にポトポト落ちる花。長く垂れ下がった蔓。夕暮れ時はご用心。

【6点】特×2・佳×2

媚びてきた夕陽なら丸ごとつぶす 守田啓子

【達雄】黄昏に弱い私としては羨ましい境地。しかし作者は一行詩人。本音はもつと複雑だろう。【こあき】素直で誠実な夕陽が見たいです。【妙】夕陽を丸ごとつぶすスケールに脱帽です。【いずみ】夕陽が媚びてくるなんて、よく思いついたなあ。

【6点】特×1・佳×4

身の上をポツンポツンと消火栓 戎 踊兵

【かなえ】消火栓の立ち姿はまさにそんな感じ。「朱」の色がすんなり心に入り込んできた。【達雄】どうぞ語って下さい。これからもヨロシクね。【こあき】平凡な人生と思われる消火栓にもいろいろあるんですね。【いずみ】

【文音】九音と八音の破調で読みました。朱い反り返りに微妙な心情を感じました。【吉見恵子】反抗的な「朱い反り返り」の鋭い表現に惹かれた。【かなえ】朱い反り返りに怖さを覚えた。この怖さの捉え方は秀逸。

消防車10台海馬をとりかこむ 宮井いずみ

【ふぶき】海馬に消防車の取り合わせが面白い。海馬は取り囲まれて観念したのか、なんて思うと楽しい。【啓子】海馬炎上?!自分の中の消防車も来なくなる日がコワイ。【柳本恵子】海馬と消防車の組み合わせが絶品ですね。

【4点】佳×4

不倫でもしてきたような朱い月 城後朱美

【与生】今回難しい句が多かったのでわかりやすいこの句に一票。「ような」ではなく断定した方が句に迫力が出る。【妙】ちよつと怖い月ですが、この朱ならありそうです。【まあこ】夜空にたまに見る赤い月。幻想的ですね。【五郎】大胆な発想にひかれる。

さわがぬように朱を入れて眠らせる 柳本恵子

【与生】間違いを正すという意味での朱を入れるだろう。

【み】身の上をポツンポツンとしか話さない人のイメージと消火栓がよく合っている。【ふぶき】消火栓が語る身の上ってなんでしょう、消したい過去なのか。

長生きをしよう朱肉は減りますが 月波与生

【啓子】生きる長さで朱肉の量の想定外の関係。作れそうで作れない独創的な作品に惹かれた。【善江】見つけがおもしろいです。【彰子】生命と朱肉、どちらにも赤い血を想像させられた。【隆志】印鑑が必要なのに、朱肉を押しています。【さち】減るものは色々あるけど。そうかもと思いました。

【4点】特×2

北を向き翼を広げている鳥居 夏草ふぶき

【与生】「朱」がら広げた発想がすごい。北向きの鳥居だなんて考えもしなかった。そして鳥へ発想を飛ばす。勉強になりました。【五郎】全く新しい鳥居の形・色を作って見せた。

【4点】特×1・佳×2

黙殺するには朱い反り返り 小野善江

「騒がぬ」と漢字でもよかつたかも。【達雄】物騒な句だが愛情も感じられる。【五郎】魂鎮めの祭を想起させる。【隆志】夏の夜、眠らぬ子の手に朱をいれました。

【3点】特×1・佳×1

合歡の花持てないものは持たぬまま 戎 踊兵

【さち】十分に生きた。これ以上望まない。諦観が潔い。こんな風に言えるようになって死にたい。【冬鼓】合歡の花の淡い色合いは今の自分を肯定してくれて優しい。

【2点】特×1

ふられたと泣く鬼灯と呑んでいる 村井規子

【妙】泣いているのは鬼灯。可愛いですね。愚痴を聴いてやりながら冷酒など差し向かい。綺麗な風情です。

朱夏暮れる誤答の多いFAQ 月波与生

【いずみ】「朱夏」と呼ぶとより暑く感じられるが、FAQが間違っていたなら、なお昔立ちが募る。まったく違う事象を取り合せて面白い句になっている。

これもデジャヴで朱雀門すり抜ける 笹田かなえ

【善江】平城京の入口の羅生門から朱雀大路が北にのびています。そして、平城宮の正門である朱雀門。幻想的な句でとても好きです。

南朝の朱刀 哀しい息を吐く 金瀬達雄

【柳本恵子】南朝の朱刀までの発想の飛ばし方がすごいです。哀しい息がまたせつない。

こんな日のこんな事情の朱の鳥居 小野善江

【州花】事情はわからないが困っているのは良くわかる。朱の鳥居を奉納することになったのですか。

光より朱に憧れて昼の月 高木まあこ

【彰子】光と朱を対等に並べて見上げている景がありあり浮かぶ。又それが昼の月とは最高な、取り合わせである。

ロシアのバスタブに墜落する夕陽 小野五郎

【規子】一読してそのバスタブを使用中のプーチンめがけて夕陽が落ちて焼死してしまえばいいと思った。

## 十和田たてがみ川柳会七月句会

○日時 7月20日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・白山修治・瀧尻善英・村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美・福田芳記

■席題 『名案』 斉藤 蛙井 選

【平抜き】

思いつきいつもあつさり娘に感謝 村上 昌子

びつたしの 名案浮かぶ 自己流か 白山 修治

名案は 後で気が付く 時遅く 白山 修治

名案が会議終わってから浮かび 瀧尻 善英

温暖化止める名案見当たらす 佐藤まさあき

名案を錆びた頭が絞り出す 高田 幸柳

会議中膝を叩いてメモを取る 高田 幸柳

名案が浮かんでたと膝を打つ 佐藤まさあき

【秀逸】

母の顔朱色に染めて新能 笹田隆志

【まあこ】新能を真剣に観ているお母さん。辺りのピンと張った空気まで伝わってくるようです。

【2点】佳×2 すっぱんに口紅ひいて逢いに行く 峯島 妙

【踊兵】潔さとすぐに会いたいという心、想われる人が羨ましい。【規子】この歳になるとすっぱんでいられる人がとにかく羨ましい。逢いにゆく相手をどれほど思っているかでどんな朱を選ぶかが変わる。

シヤチハタで押ししてしまった自尊心 峯島 妙

【こあき】しまった！と思いましたね。自尊心大事にしましょう。【ふぶき】つい押ししてしまったのが自尊心だったという意外性がおもしろい。

人生がほぼ赤点の不孝者 村井規子

【啓子】自己採点が赤点。友達はきつと百人。いい人生ですね！【文音】まんま詠みだと思いましたが、自身にぶつつけたくなる気持ちもありますよね。

名案が浮かばず会議 座礁する 佐藤まさあき

締め切りが過ぎればアイデア沸いてくる 瀧尻 善英

【特選】 閃いた半跏菩薩が立ち上がる 瀧尻 善英

■席題 『名案』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

名案が浮かばず会議 座礁する 佐藤まさあき

思いつきいつもあつさり娘に感謝 村上 昌子

頭さび名案ふわり風に舞う 斉藤 蛙井

いい介護考えてたら高齢者 村上 昌子

会議中膝を叩いてメモを取る 高田 幸柳

名案が浮かんでたと膝を打つ 佐藤まさあき

おねだりは幸せなので有りません 久保あざみ

名案にペン走らせる二十四時 木村奈生美

名案を錆びた頭が絞り出す 高田 幸柳

【秀逸】

温暖化止める名案見当たらす 佐藤まさあき

名案がはずにペンだけ宙を舞う 高田 幸柳

【特選】

名案の森で脳味噌補充する 木村奈生美

■宿題 『めげない』

佐藤まさあき 選

【平抜き】

あと5秒だけど踏ん張る5分吟  
 猛暑にも負けぬ雑草伸びる庭  
 全没もめげずに走り出したペン  
 めげるなよ夕焼け空に励まされ  
 逆境にめげぬ孤独のご真ん中  
 夢があるけしてめげないねじり花  
 人生は空振りばかり またトライ  
 諦めぬ出ない出ないよ句が出ない  
 我武者羅に大地掴んで立ち上がる  
 めげないで生きると決めた太い眉  
 傲慢な上司にめげず四十年  
 新社員めげない体力だけはある

【秀逸】

めげないでリハビリ続け機能待つ  
 町一番の姑にめげない嫁が来た

【特選】

不合理にめげず今日まで生きてきた

瀧尻 善英  
 村上 昌子  
 木村奈生美  
 久保あざみ  
 木村奈生美  
 磯島 雅男  
 瀧尻 善英  
 村上 昌子  
 瀧尻 善英  
 木村奈生美  
 高田 幸柳  
 城後 朱美  
 城後 朱美  
 福田 芳記  
 城後 朱美  
 高田 幸柳

■宿題 『めんこい』

瀧尻 善英 代選

【平抜き】

初孫を愛でる婆ちゃん理屈なし  
 よその子もめんこい盛り二、三歳  
 めんこい手からプレゼント貰う幸  
 振花はめんこく咲いて空を見る  
 将来の希望めんこい子等の文字  
 やわらかく赤児を愛でる南部弁  
 ランドセルゆれてコンチワ午後三時  
 出没の熊をめんこく描く童話  
 「散歩だよ」尻尾フリフリ駆けて来る  
 爺さんと 孫の呼ぶ声 たまらない  
 反抗期めんこい時もあつたよな  
 ニコニコとめんこい母が一人いる

【秀逸】

めんこいが口答える反抗期  
 婆さんを虜にしちやうタマの罨

【特選】

乳母車めんこい顔を二つ乗せ

佐藤まさあき  
 福田 芳記  
 木村奈生美  
 久保あざみ  
 木村奈生美  
 佐藤まさあき  
 村上 昌子  
 磯島 雅男  
 久保あざみ  
 白山 修治  
 齊藤 蛙井  
 城後 朱美  
 高田 幸柳  
 村上 昌子  
 福田 芳記

■宿題 『目眩』

互選

- ①雑草にめまいしそうだ 抜き続け
- ①万馬券またも当たって やや目眩
- ①月末はやり繰りしても目眩する
- ②ギラギラの陽射しの道路立ち眩み
- ②おねだりの言い訳聞いて目眩する
- ②役職を次々 任されて目眩
- ②くらくらしがみついたら共倒れ
- ②目眩する物価上昇この暑さ
- ③恋だろ揺られてふらつく角砂糖

白山 修治  
 佐藤まさあき  
 久保あざみ  
 磯島 雅男  
 高田 幸柳  
 瀧尻 善英  
 村上 昌子  
 齊藤 蛙井  
 木村奈生美

◆十和田たてがみ川柳会9月句会案内◆

【時】9月21日(土) 午前10時から 【所】十和田労働  
 福祉会館 【宿題】(各題三句詠 『許さな』 齊藤蛙井  
 選/『ゆったり』村上昌子選 【互選】(二句詠 『揺りす』  
 当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当  
 日発表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者  
 から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平  
 72 高田幸柳宛

## おかじょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかじょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

### ①「Google Chrome」でウェブサイトを開覧する。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているのですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



### ② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用している場合、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出てこなくなります。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



### ③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずですよ。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます



### □ 2024.10.13 第 59 回 五所川原川柳大会

【とき】令和6年10月13日(日) 受付:9時30分/席題発表:10時30分/投句締切:11時30分【ところ】五所川原市中央公民館1階大ホール【会費】4千円(昼食・懇親会・発表誌)【宿題】(各題・共選・二句詠)『隠す』北山まみどり・むさし選/『空想』菊池京・千島鉄男選/『企む』きさらぎ彼句吾・岩崎雪洲選【席題】(二題・共選・二句詠)『 』三浦蒼鬼・野沢省悟選/『 』守田啓子・高瀬霜石選【特別課題】『【今】熊谷冬鼓・綿谷夕雨子・田沢恒坊・千葉かほる・福土慕情選【賞】宿・席題合点20位まで・特別課題3位まで【主催】川柳岩木吟社/五所川原市文化振興会議◇投句拝辞◇選者につきましては交渉中◇連絡先 電話 0173-34-3698 沢田百合子まで

### □ 2024.10.17 第 58 回 大川誌上川柳大会

【課題と選者】「一步」太宰府・藏田康子 選/「チャレンジ」鹿児島・石神紅雀 選/「晒す」中間・古谷龍太郎 選/「推す」吉野ヶ里・真島久美子 選/「ギリギリ」熊本・中川しのぶ 選/「不便」宮崎・間瀬田紋章 選/「武士」(時代吟)柳川・梅崎流青 選【投句締切】令和6年10月17日(木) 当日消印有効【投句用紙】各題2句計14句(受付表・同封用紙にて提出) 別紙に14句と氏名明記の上同封して下さい。【賞】特選賞 順位賞【投句料】千円(発表誌呈)【投句先】〒832-0005 柳川市西蒲池834の1 古賀順子(TEL.0944・73・1427)【主催】大川川柳会えんのき【後援】大川市教育委員会・大川文化協会

### □ 2024.10.27 黒石川柳大会

【とき】令和6年10月27日(日) 受付11時30分～ 席題発表12時【ところ】スポカルイン黒石2階大会議室(電話0172-53-8111)【会費】2千円(発表誌・お茶) 昼食は各自でお願いします。【事前投句】「蛇」1句詠(欠席投句拝辞)10月7日(月) 消印有効 清記して全員選 【宿題】「甘い」野沢省悟・沢田百合子共選/「潮」千島鉄男・千葉かほる共選/次々」田沢恒坊・山野茶花子共選 【席題】「 」むさし・岩崎真理子共選 ※宿題・席題ともに2句詠 ※宿題、席題の投句締切 午後1時 ※開会は午後2時(懇親会はありません)【問い合わせと事前投句のあて先】黒石川柳社 三浦蒼鬼 〒036-0533 黒石市二双子字十川46-2 携帯電話 090-7933-6064

■会費拝受【7月受付分】 ※太字は新会員

矢沢和女(兵庫県) / 野口三代子(愛媛県) / **小野善江(高知県)** / 豊澤かな江・村上あつこ(以上青森市)  
/ 桜田富士江(蓬田村)

■おかげょうき川柳社会員募集中!

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円(1年分)

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

**熊谷冬鼓** toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2)

--- 終着駅 Sin ---

◆先月号でお知らせした当柳社会員の吉松澄子さんの訃報。それを知らせてくれた、まつやま吟社の村山浩吉さんから来たメールには、「生前 吉松様は「おかげょうき」が、自分に合っていて、一番心地良いと話されていた。」とあった。句会に来れるわけでもなく、句会後に皆と話せるわけでもない遠い愛媛から投句している会員に「一番心地良い」と言っていただけで、スタッフとして、とても嬉しく思う。心からご冥福をお祈りします◆また、ここで触れようかどうか悩んだが、触れないのもおかしいので、触れることにする。今号の「深艘心理」での奈良一艘さんのカミングアウトに驚かれた人も多いことだろう。私もこの原稿を受け取るまでは、何も知らずにいた。「深艘心理」内でも6月に医者から宣告があったとあるが、そこから今日までの間、川柳ステーションや、らくだキャラバ

ン句会、8月例会と顔を合わせた、そんなことになってるなんて、微塵とも思わせない姿だった◆一艘さんが、おかげょうき川柳社の月例会会に参加し始めた頃、句会後の懇親会で「おかげょうきは懇親会で、川柳についての議論があるのがいい」と嬉しそうに語っていた顔がすごく印象に残っている。また、月例会会内の研究吟でのディスカッションでは、作品の読みの妄想度合いが面白かったため、妄想鑑賞をしないかと持ちかけ、私が「深艘心理」というタイトルをつけてコーナー化した。よく毎月、苦しみながらも入稿しつづけてくれて、本当に感謝している。毎月、それを読みながら「あいかわらずアホやなあ笑」と本当に楽しませてもらった◆でもきっと、一艘さんのことだから、「ドッキリでしたー！」って、句会にも元氣な顔で現れてくれたと信じている。そうじゃないと困る◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2024.09.11 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」9月句会

【投句締切】9月11日(第2水曜日)【題・投句数】[語]2句【合評句会】9月18日(第3水曜日)青森駅前アウガ5階で14:00~【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*

それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓 宛



□ 2024.9.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句(11月号分)

【締切】9月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】11/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com

守田啓子宛



□ 2024.10.05 おかげょうき川柳社本社10月句会

【時】10月5日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】10月4日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『システム』/『転』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『観葉植物』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.10.09 ㄨ 「川柳吟行会 ぼ」10月句会

【投句締切】10月9日(第2水曜日)【題・投句数】[林]2句【合評句会】10月16日(第3水曜日)青森駅前アウガ5階で14:00~【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*

それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓 宛





2024年9月10日発行(年12回発行) 第29巻9号通巻366号  
 ●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風  
 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3 ●E-Mail:info@okajoki.com

# 第29回 杉野十佐一賞 作品募集

課題/締切

「紙」(2句詠) / 2024.9.30 ✕

選者

徳永 政二 (滋賀県/「びわこ番傘川柳会」所属)

なかはら れいこ (岐阜県/「ねじまき句会」所属)

樋口 由紀子 (兵庫県/「晴」編集発行人)

広瀬 ちえみ (宮城県/「What's」編集発行人)

峯 裕見子 (滋賀県/第28回杉野十佐一賞大賞受賞者)

むさし (青森県/おかじょうき川柳社 代表)

投句料

1,000円 (発表誌をもって投句料領収したものとさせていただきます/締切日まで投句料が入金された場合のみ作品を受け付けます)

応募方法 ※郵送・FAX での応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

<https://forms.gle/iAX2fZRBvFG37iyc8> へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。送信後、締め切り日までに下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。



スマホで簡単申し込み!

【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、件名に「第29回杉野十佐一賞」として、下記送信先までメール送信してください。

<送信先アドレス(守田啓子宛): moriko@okajoki.com >  
 送信後、下記口座に投句料1,000円をお振込みください。

振込先: 郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

発表

月刊おかじょうき 2025年1月号の誌上において発表。

サイト掲載: 2025年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

著作権は作者に帰属しますが、出版権、雑誌掲載権など、作品を自由に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

※作品は応募者の自作で未発表のものに限ります。※応募された原稿に関するお問い合わせや、審査結果の問い合わせには応じられません。※個人情報については、許可なく他の目的で使用することはありません。